



マイクロバスで行く、恒例の
春の戦跡見学会 2026



熱田を中心にした名古屋戦跡めぐり

3月29日(日) 9時00分発

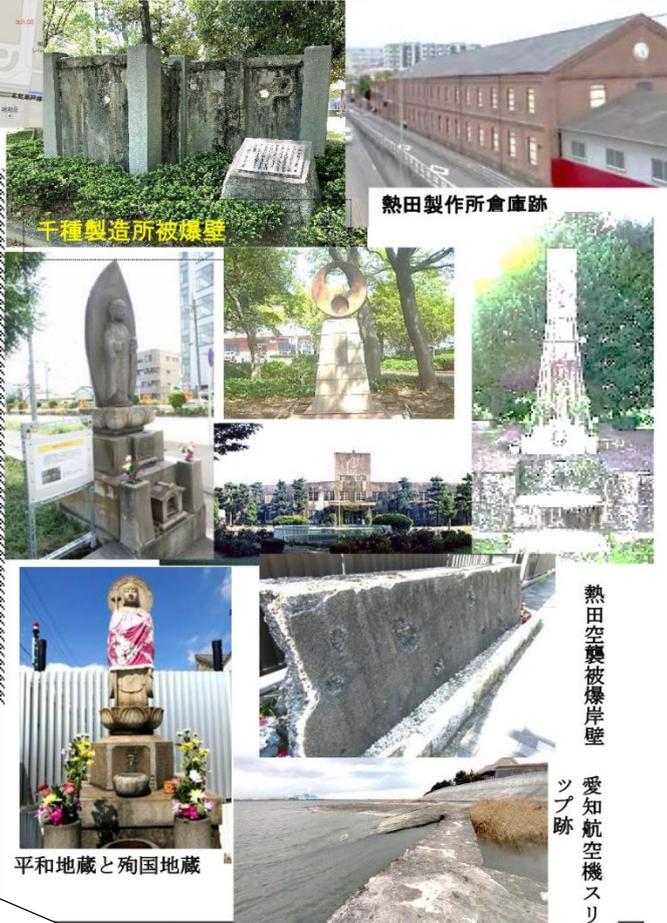
雨天決行です

出発 9:00
愛知環状鉄道
瀬戸市駅
西口前

当日の駐車場は確保
できかねますので、
公共交通機関をご利用
願います。



今年も「保存する会」恒例の春の見学会を計画しました。
参加を希望される方またはご質問は、下記の連絡先まで
定員25名になり次第締め切ります。 3月25日締切



千種製造所被爆壁

熱田製作所倉庫跡

熱田空襲被爆岸壁

ツブ跡

平和地蔵と殉国地蔵

日程

道路・経過時間の状況により変わります。
道路・経過時間の状況により変わります、
全員集合しだいで発車します。」

- ① 9時00分発 瀬戸市駅西口前
- ② 陸軍名古屋造兵廠千種製造所跡
- ③ 同 熱田製造所跡
- ④ 同 高藏製造所跡
- ⑤ 熱田法持寺
- ⑥ 白鳥庭園(昼食)
- ⑦ 愛知時計電機附近探索
(被爆岸壁、平和地蔵等)
- ⑧ 千年八幡神社
- ⑨ 愛知航空機スリップ跡
- ⑩ 鳥居松工廠跡
- ⑪ 鷹来工廠跡
- ⑫ 17時ごろ 瀬戸市駅西口着

参加費 **3000円**

交通費、保険代込み **お弁当代込み**
当日はマイクロバスで有料道路等も利用
します。定員25名になり次第締め切ります。

会報

NO.190
2026年
3月1日

瀬戸市追分町64-1
瀬戸市職労組 事務所
0561-84-4760
fax 84-4767
郵便振替口座番号
00820-9-105120
連絡先

事務局

寺協

0572-23-5899
fax 同上

携帯

090-6575-4370

Eメール

tera-m@ob.aitai.ne.jp



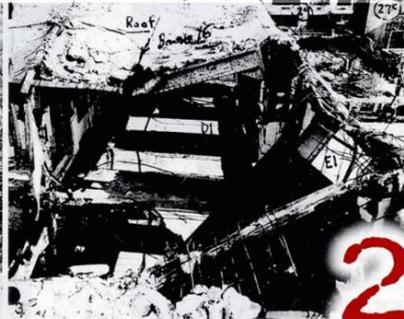
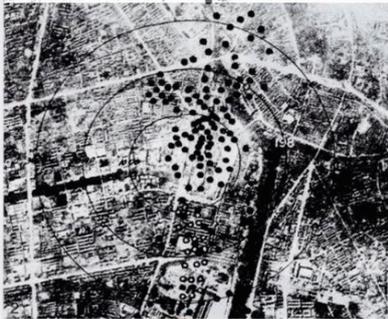
2024年の夏に、愛知時計電機が通
行人の安全のためと称して「平和地
蔵」撤去する計画であったが、地域
住民の方々が急遽「熱田空襲遺跡を
守る有志の会」を立ち上げ当局に要
請したことにより、会社側はより安
全な場所に移転再設置されること
になりました。「有志の会」の方のお計
らいで昼食は**お弁当**をいただくこと
になっています。

お弁当代込み 3000円です。
申し込みは寺協(右)まで

2026年3月1日現在	会員	156名
埼玉県白岡市	野口哲央さん	5000円
名古屋市	杉本皓子さん	2000円
春日井市	大里 豊さん	2000円
宇佐見美智代さん		2000円
瀬戸市 山田美和子さん		2000円

ありがとうございます
ございました！
2026年度
会費およびカンパを頂いた方

—ピースあいち企画展—



1945年6月9日 熱田空襲

8分間で奪われた

2000

人のいのち

「ピースあいち」の金子さんより「熱田空襲展」のご案内をいただきました。わずかな時間に奪われた命の重さを感じざるをえません。

1945年6月9日、熱田神宮に近い愛知時計電機と愛知航空機の2つの工場一帯を襲った「熱田空襲」は、わずか8分間の空襲で2000人を超える犠牲者を出しました。なぜ、時計製造工場が標的になったのでしょうか。なぜ、名古屋空襲で最大の被害となったのでしょうか。

6月9日は、昼間、複数の都市（兵庫県西宮市・同県明石市・名古屋市熱田区）で軍需工場を攻撃するという米軍の「エンパイア作戦」の初日、そして2トン爆弾が日本で最初に使われた日でした。

日露戦争を機に軍需品生産を始めた愛知時計電機は時計製造で培われた技術で航空機・発動機など幅広く軍需品を生産する軍需工場となっていました。県内外から学徒動員労働員を受け、約22000人が生産にあたっていました。

この日、空襲警報が解除され工場へ戻り始めた人々の頭上に、巨大な爆風で破壊しつくす2トン爆弾が降りそそいだのです。

2026年

3月10日(火)～4月25日(土)

開館時間——11時～16時(最終日は15時まで)

休館日——日曜日・月曜日

入館料——大人300円 小中高生100円

今年のピースあいち空襲展は「6月9日熱田空襲」を取り上げます。

3月12日、19日に市街地中心部を焼き払い、5月14日、17日に周辺市街地を焼き払い名古屋市街地は焼け野原となります。三菱発動機・同航空機もそれまでに破壊しているため残っている攻撃目標は愛知時計電機・愛知航空機・住友軽金属などを目標となります。

米軍は6月9日からエンパイア作戦を開始します。日本が梅雨に入るため、米軍は目視可能な天気予報があれば、航空機製造工場などを昼間に複数を爆弾攻撃、目視不可能な場合は夜間に中小都市4カ所を焼夷弾攻撃する作戦を実施します。

6月9日はエンパイア作戦の第1回目でした。わずか8分の攻撃で愛知時計電機は壊滅、愛知航空機も大打撃を受けます。そして2,000人を超える名古屋市最大の犠牲者を出しています。この攻撃では初めて4000ポンド(2トン)が使用されました。これは通常空襲で使用された最大の爆弾でした。破壊力は鉄筋コンクリート4階建ての建物を貫通して地下室に避難していた人々も犠牲になっています。戦後、GHQのメンバーとして来日したモージャー氏もカラスライド(国立国会図書館デジタルアーカイブ)で撮影しています。(金子)

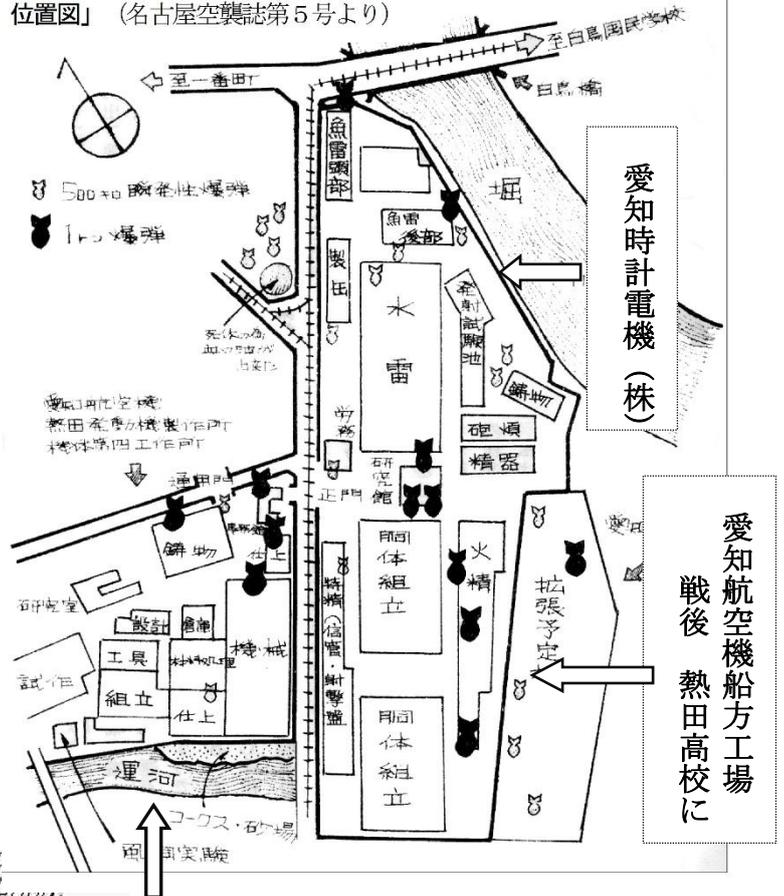
愛知航空機(株)と愛知時計電機(株)

瀬戸の地下工場の本体は名古屋にあった愛知航空機(株)であった。

歴史

- 1893 (明治 26年) 愛知時計製造合資会社設立
- 1898 愛知時計製造株式会社設立
- 1904 東京砲兵工廠から砲弾の信管部分受注
海軍造兵廠から歯輪装置の受注
- 1911 愛知時計電機株式会社に変更
- 1913 航空機の製造を開始
- 1924 愛知時計株式会社
- 1926 (昭和元年) 航空機用発動機の製造を開始
- 1933 愛知機械製造株式会社を合併
- 1936 愛知重工業株式会社を合併
- 1940 (昭和 15年) 全工場、海軍の管理工場となる
- 1943 (昭和 18年) 愛知航空機株式会社設立 (港区稲永)
- 1945 (昭和 20年) 2月13日 瀬戸疎開工場 ⊕ 本部事務所

(※4) 白鳥橋、愛知航空機熱田工場 同船方工場 への爆弾落下位置図 (名古屋空襲誌第5号より)



愛知航空機永徳工場 (本社)
戦後は愛知機械工場 (株)

愛知航空機 熱田発動機 (エンジン製造)
戦後は 愛知機械工業 (株)



主要生産機

九九式艦上爆撃機	昭和 14年
艦上爆撃機「彗星」	昭和 18年
艦上攻撃機「流星」	昭和 20年
零式水上偵察機	昭和 15年
水上偵察機「瑞雲」	昭和 18年
特殊攻撃機「晴嵐」	昭和 18年
夜間戦闘機「電光」	昭和 19年 試作

3月29日(日)の見学会(P1参照)では、愛知時計電機の周辺をめぐり、被爆護岸や、平和地蔵、殉国地蔵などを見学します。港区の稲永では旧永徳工場のスリップを見学します。

旧国家総動員関係死亡者名簿（愛知県）②

モニターをやっていたら、いろいろとコメントをいただいたので、お答えしたいと思います。

事務局 寺脇

「Oさんの感想・疑問」 会報 189号 P.5 で
旧国家総動員 関係 死亡者名簿について、入力作業報告だけではなく、なぜ入力しているのかという目的もきちんと 示されると良いのではと思います。また、これはレイアウトのことなのですが、文章が2箇所に分かれているため、読みにくく感じます。

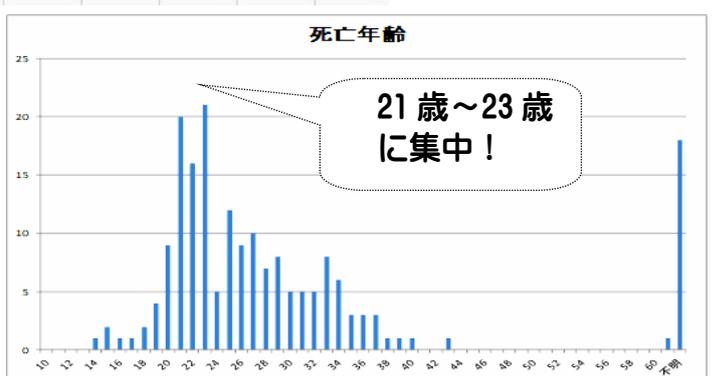
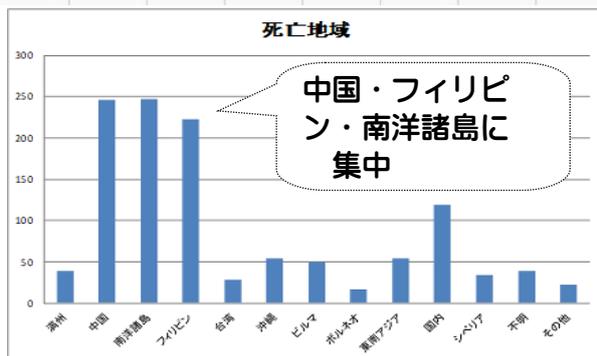
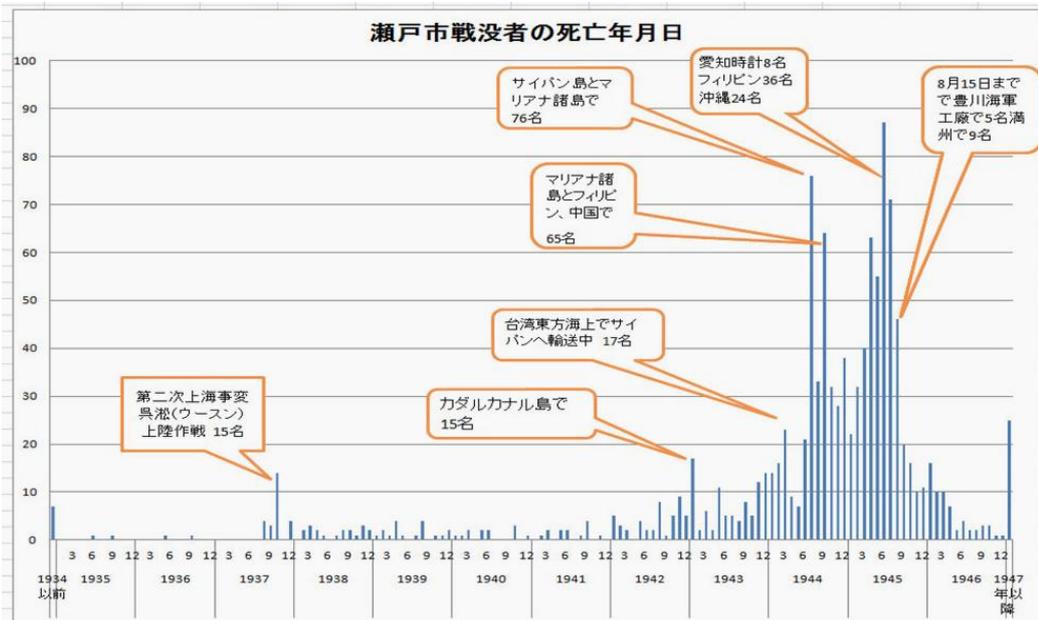
この名簿は、国家総動員法に基づき徴用された国民、ならびに動員された学徒が空襲等で死亡した方の氏名、生年月日、学徒動員なら当時の学校名、作業署名、住所、徴用（動員）された日、解除された日、死亡の原因となる受傷（被爆）した日時、場所、原因、死亡日時、場所等が記されていて、貴重な記録です。

ただ、受傷した日時については、時刻があいまいで日にちしか書かれていないケースが多いです。また受傷の程度や死因については、各企業の医務体制などの違いで、非常に詳しく記してあるところもありますが、多くは「爆死」としか書かれていないことが多いです。以上の内容を表計算ソフトである「エクセル」に入れると、

・死亡者の年齢・被爆の日時・死亡の原因・徴用または、動員された住所の統計等々、いろいろと分析できると思います。また住所や名前前で検索をすれば、その方の動員先、死亡した日時、場所等が分かります。

わたしが以前に入力した「瀬戸市顕霊誌（平成7年度（1995）瀬戸市遺族会連合発行）」瀬戸市民で過去に戦争で亡くなった方の「データ」で分析した結果を下に記します。

左のグラフは「瀬戸市内における戦死者1175名」のデータのうち死亡日時を棒グラフにしたものです。これを見ると、戦死者は1944年（昭和19年）6月から1945（昭和20年）8月までに集中していることがわかります。



旧国家総動員関係死亡者名簿（写し）の一部

死亡者個人の記録

た着（戦傷病者調査法第二條第一項第二号該当者）
害により負傷し又は疾病にかかりこれにより死亡した者の名簿

令書に記した年月日	令書に記した年月日	令書に記した年月日	死亡の原因となつた突発傷疾病			死亡の状況			備考
			年月日時	場所	原因	年月日時	場所		
昭和17年4月16日	昭和17年4月16日	昭和17年6月10日	20.6.9	名取市江崎町 江崎町江崎	護国工廠にて作業中 爆弾の落下に遭ひ 左折腕の根元を爆弾に受けて (甲の要退命令違反)	昭和17年6月9日 9.40	名取市江崎町 江崎町江崎	頭蓋骨骨折 (出血多量) 頭部裂傷出血多量	
昭和17年4月16日	"	"	"	"	"	"	"	(頸切脈裂創)	
昭和17年4月16日	"	"	"	"	"	"	"	腹部挫傷(右上腹)	
昭和17年4月16日	"	"	"	"	"	"	"	(腸、肝臓破裂出血多量)	
昭和17年4月16日	"	"	"	"	"	"	"	左大腿骨折	
昭和17年4月16日	"	"	"	"	"	"	"	(大腸破裂出血多量)	
昭和17年4月16日	"	"	"	"	"	"	"	頭蓋骨骨折	
昭和17年4月16日	"	"	"	"	"	"	"	(出血多量)	
昭和17年4月16日	"	"	"	"	"	"	"	粉砕死	
昭和17年4月16日	"	"	"	"	"	"	"	腸破裂	
昭和17年4月16日	"	"	"	"	"	"	"	(使頭部挫傷)	
昭和17年4月16日	"	"	"	"	"	"	"	頭部粉砕	

(頸切脈裂創)
腹部挫傷(右上腹)
(腸、肝臓破裂出血多量)
左大腿骨折
(大腸破裂出血多量)
頭蓋骨骨折
(出血多量)
粉砕死
腸破裂
(使頭部挫傷)
頭部粉砕

護国工廠にて作業中
爆弾の落下に遭ひ
左折腕の根元を爆弾に受けて
(甲の要退命令違反)
20.6.9
9.40
名取市江崎町
江崎町江崎
護国工廠
頭蓋骨骨折
(出血多量)
頭部裂傷出血多量

愛知県小牧中学校
愛知県東春日井郡小牧町御林 2296

動員した学校の記録

第一、四、五年450名を1隊とし、二年を150名を2隊とし、一年150名を3隊として編成し、1、2隊を橋本重工業に出動せしめ、小銃隊、飛行機製造に従事せしむ。

学校名	学級数	動員人数	動員時期	備考
愛知県小牧中学校	12	450	昭和17年4月	1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12
愛知県東春日井郡小牧町御林 2296	12	450	昭和17年4月	1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12
愛知県小牧高等学校	12	450	昭和17年4月	1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12
愛知県東春日井郡小牧町御林 2296	12	450	昭和17年4月	1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12
愛知県小牧町立小牧中学校	12	450	昭和17年4月	1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12
愛知県小牧町立小牧中学校	12	450	昭和17年4月	1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12

当時の記録はその筋の命により令
師焼却したので、従つて命令を受
けた年月日並に出動人員に正確な
は明し難く、記憶によつて記入せし
出動の際には、3、4学年を最初に出
し、1、2学年を予備隊としてお
いたが、戦争の苛酷の度に従ひ、
2学年を加へ、遂には、1学年を
加へて、全校を出動せしめた。
この間、本校の報国隊員の中に別
紙の通り、1名の生徒を犠牲に出
したことは永久に忘れられざる
憾事であつた。

寒風の中の現地見学会 1月25日(日)



会で設置した看板が老朽化し脚部が腐食し折れてしまいました。早急に新しいものを設置しなければいけません・・・、

1月25日(日)恒例の地下工場跡現地見学会を行いました。参加者は11名で、やはり最強寒波で出席者が例年になく少なかったのですが、瀬戸市内の高校生の方が参加され熱心に見学されていたのが、印象的でした。

また、今まで見学の際、体育館横の階段がロープで封鎖されてそこを通過できずに西側の斜面を通っていきましたが、途中でも進入禁止の看板があったりして見学していただけいた方にご迷惑をおかけしました。(寺脇)



寒風の中、ごくろうさまでした。



瀬戸地下軍需工場跡見学会感想

瀬戸市 岡村浩子

今回、瀬戸地下軍需工場見学会に初めて参加させて頂きました。

瀬戸地下軍需工場跡については、子供が使用していた社会科の副読本で写真を見たことはあったのですが、実際にそれを目にするのは初めてのことで、大変貴重な経験となりました。案内して頂いた工場跡は、いずれも土に埋もれ入口が確認できるのみ、その入口も鉄柵が設置され、外から眺めることしかできません。それでも、現地に立つことによって、この国がかつて戦争があったこと、そして、この町も無関係ではいられなかったという事実を、リアルに感じる事ができたように思います。

戦後80年を迎え、若い世代が戦争体験を聞いたり知ったりする機会は少なくなっています。また、学校の歴史の授業で近現代に割かれる時間はそれほど多くなく、戦争という恐ろしい記憶をわざわざ我が子に教えたくないという意見もあります。そのような中で、瀬戸地下軍需工場跡が果たすだろう役割の大きさは計り知れません。

現地にて工場跡を拝見し、このままではいずれ完全に土に埋もれてしまうのでは、という危惧を抱きました。一度失ってしまえば、戻すことはできません。自治体などの協力のもと、この遺跡の保存が実現され、未来へのメッセージとなることを、強く願います。

また、保存会における保存以外の目的についても、大変共感いたしました。散歩道の整備、工場跡資料館の開館、どちらも必要なことのように思います。山中にあること、場所が分かりにくいことなどから、現状では個人的に軍需工場跡を訪れることは、難しく感じます。整備がなされ、子供たちが戦争について自ら学べる場ができること。教育の面から見ても、とても有意義な施設となるのではないのでしょうか。

帰宅後、SNSにて政府が軍需工場国有化を検討しているという記事を目にしました。非戦を願い、軍需工場跡を保存しようと活動する方々がいる一方で、このような政府の動きがあること、残念でなりません。この国はどこに向かうのか不安になりますが、だからこそ、戦争遺跡の保存とその存在を広めることの意義について、改めて考えさせられました。

みなさん、どう思われます？ ⑫



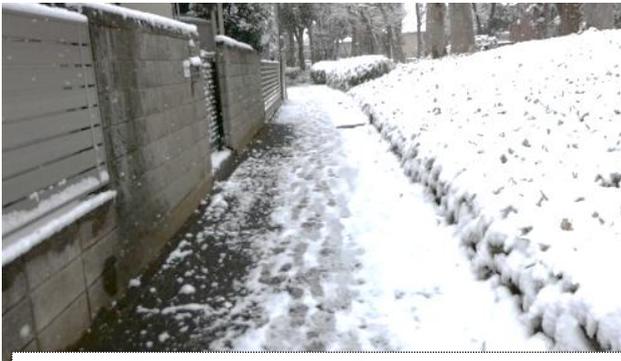
今回の現地見学で工場跡地見学に黄信号が灯りました。見学地へは市民公園からの入り口(写真左上)は数年前から「危険！近づかないようにお願いします」の看板があり、下の入り口水野小学校の校庭側の階段(写真右上)にはトラロープとビニルテープがしてあるのです。そればかりか、山へ入るところ(写真左下)滑り台全部(写真右下)に**使用禁止、進入禁止の看板とロープ・策**がしてあります。なんのためにこんなことをするのか疑問に思いました。(寺脇)

現存する日本最大級の地下軍需工場跡

浅川地下壕探検記！



当時日本最大の航空機メーカーであった中島飛行機武蔵製作所に向かう引き込み線跡①（中央線武蔵境駅東）



中島飛行機武蔵製作所に向かう引き込み線跡②



調布飛行場近くの掩体壕（大沢2号）武蔵野公園内。最寄り駅は西部多摩川線「多摩」附近には数か所掩体壕が残っている。

いざ、浅川へ！

日本列島に最強寒波が訪れた2月8日（日）中央線始発電車に乗り、新幹線に乗り継ぎ、いざ八王子浅川へ！

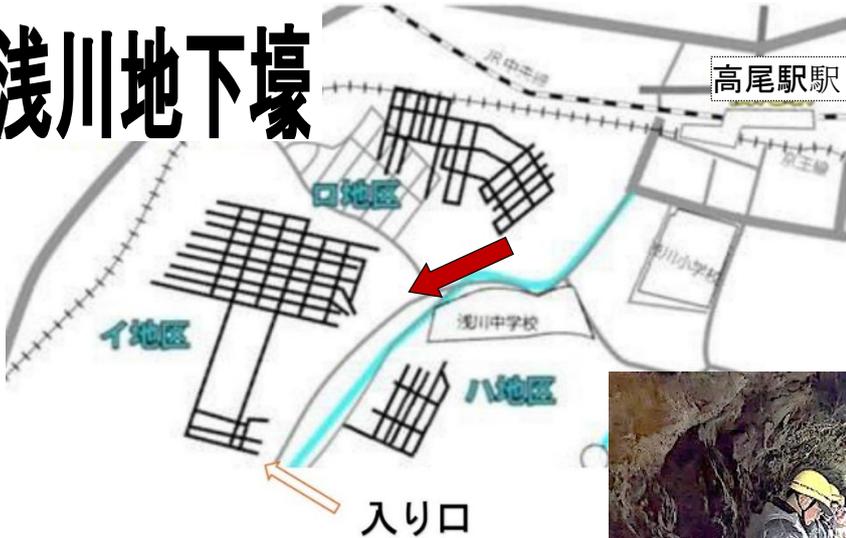
もちろん国民の義務である投票は期日前で済ませ、午前中は東京各地の戦跡をめぐる計画を綿密にたて、いざ東京に向かいました。静岡の車窓からは快晴の富士山を眺めてわくわく気分でしたが・・・神奈川を過ぎると世界が一変・・・そこは雪国でした。結局計画した戦跡巡りは二か所しか廻れませんでした。（寺脇）



中島飛行機武蔵製作所に向かう引き込み線跡③ 橋は当時のものではないが、橋台跡が残っているらしい。下は説明板。



浅川地下壕

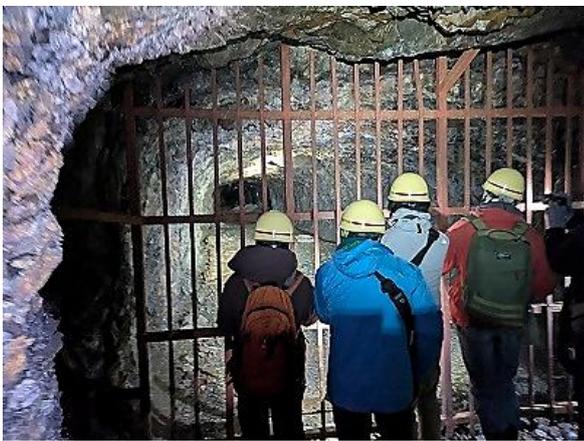


上の写真は中央線から続く引き込み線で地図の矢印のあたり。戦後米軍が撮ったもの、右後方に浅川地下壕のイ地区がある。

トロッコレール跡。枕木の跡が分かります。ジョイントや犬釘も転がっています。



左の写真は、141箱分総重量3tものダイナマイトが見つかったところ。下は見つかった当時のダイナマイトの収納箱。説明しているのは保存をすすめる会の中田さん。



帰り道に見た巨大な看板が印象的でした。入り口付近には、地下壕の解説する看板すらく、全国的に有名な戦跡の保存にも苦労されているようすでした。



岩盤にダイナマイトを挿入する穴がたくさんあいている箇所。

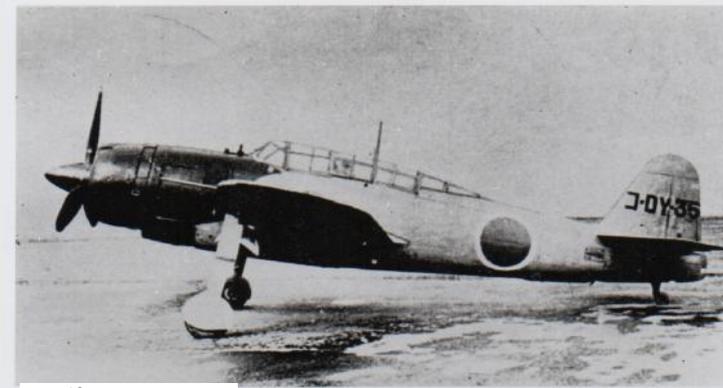
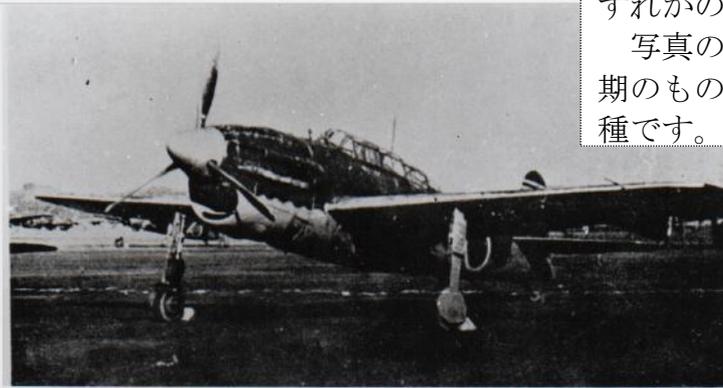
父は愛知航空機に勤務していた!



2月2日山田富久さんの紹介で、父親が愛知航空機に勤務されていたという一宮在住の柴田さん(写真)にお会いし、彗星の防風ガラスとアルバム(昭和15年3月 愛知時計技能者養成実習場 修業記念)を見せていただきました。

父上(1925年1月生まれ)は同社の技能者養成実習所を1940年(昭和15年)3月に卒業。試作課で働き、終戦時は垂井にあった疎開工場におられたとのこと。防風ガラスは彗星の写真をみると前面の左右いずれかの枠に相当しそうです。

写真の彗星は上が、水冷アツタエンジンを積んだ初期のもので、下の彗星は空冷エンジン金星を積んだ機種です。下はアルバムの一ページです。(寺脇)



誓詞
常ニ戦線勇士ノ心ヲ
心トシ元氣ヨリ枝ヲ練リ
業ヲ磨キ以テ報國ノ誠ヲ
盡サントラカム

右の図は米軍爆撃調査団の報告書にあった愛知航空機の疎開工場を一部を抜粋したものです。英文を訳しています。垂井附近にも小規模な施設が描かれています。



聖霊高校生 原水禁 世界大会 参加報告②

26年11月4日
文化センターで原水禁世界大会に出席した5名の高校生の報告を掲載します。

Iです。私は広島のと昔それから私たちがすべきことについて話そうと思います。私は広島に原爆が落とされた日である8月6日に広島に行きました。私が見た広島のと昔でも栄えておりたくさんの大きなビルや建物で埋め尽くされていきました。ですが、たった80年前のこの場所はビルどころか建物が一つもない焼野原だったのです。私はその写真を平和公園にある広島平和記念資料館で見ました。遠くまで見ることができるといってもいい土地。一本だけ焼け残った神社の鳥居、建物とは呼べないほど崩れてしまった原爆ドームその景色は今の広島からでは想像することができないような景色でした。原爆が落ちた直後の広島の写真と今の広島のと昔を見比べてみるととても発展しているなと思ったのと同時に笑顔で歩く人々や草木で

いつばいの平和記念公園を見て、なんて今は平和な世界だろうと思いました。ですが、私たちはこの平和な日常が資料館に行く前の私のように当たり前だと思ってしまう。これは平和の大切さを見失ってしまう危険なことだと考え私は当たり前の日常に日々感謝をして生きていこうと考えました。私は学校で習ってきた画像や先生のお話を聞いて原爆のことについて分かったつもりでしたが学校で学んでいたことと実際にその場所に行き原爆の資料や写真を見たりして改めて原爆の悲惨さを実感しました。やけどで皮膚がぶら下がった人の写真や8時15分で止まった時計。原爆の熱で人の影が残った壁など原爆が起こした人々への脅威や恐ろしさを実感し、私はなぜか心がザワザワし平和記念資料館を出るまで胸騒ぎが止まりませんでした。資料館を出た後もこの場所ですっきり見たことが、たった80年前に起きたのだと考えると、また心がザワザワし始めました。私が展示を見ただけで胸騒ぎがし恐怖を感じたなら実際被爆した方々は、どれだけの恐怖を感じたのでしょうか？きつと私たちが考えることができないほどでしょう。ですが、私たちは目をそらさず、学んでいかなければなりません。学校で戦争のことを学ぶには限界があり

ます。そのため私たち若者が戦争や原爆についてよく理解し、世界が平和であり続けるためには自分たちで自発に行動していくことが大切だと思いました。例えばもし私たちのように現地に行く機会がいただけたならば自分で積極的に参加したり自分の身近な家族や親せきに話を聞かせてもらうなど自分たちでもできることはたくさんあります。そしてなにより大切なことは原爆について未来につないでいくことです。近年、私たち学生や原爆を知らない人々に原爆の実体験を直接話をしていただけの被爆者の方が、年々高齢化にともない少なくなりつつあります。そのためこれからの未来をつないでいく私たちが原爆や戦争のことについて未来に語り継いでいかなければならないと思えました。私たちはこの悲惨なできごとをけっして忘れてはいけません。そして忘れないために今後重要になるのは私のような戦争や原爆を体験したことのない若者たちです。被爆者の体験や思いをこれからの世代に受け継いで戦争のない平和な世界を実現して行きたいと実際、広島に訪問し強く思いました。ご清聴ありがとうございました。

(次号へつづく)

米国国立公文書館所蔵の報告書にあった東海地方の戦闘の記録②

* 米国国立公文書館が所蔵 行方不明搭乗員報告書

1945年6月26日東海地区で行方不明になった米軍 B29 爆撃機の報告書が見つかりましたのでお知らせいたします。(福手)

各務ヶ原在住の福手さんより米国公文書館所蔵の報告書の中より東海地方に関する事例を見つけたというので掲載させていただきます。福手さんありがとうございます。(寺脇)

MISSING AIR CREW REPORT

IMPORTANT: This report will be compiled in triplicate by each Army Air Forces organization within 48 hours of the time an air crew member is officially reported missing.

1. ORGANIZATION: Location, by Name No. Fld. Guam ; Command of Air Force 20th AF Group 19th B.Gp. ; Squadron 28th B.Sq. ; Detachment _____
2. SPECIFY: Place of Departure No. Fld., Guam ; Course 295 Deg TC Target or Intended Destination Kagamigahara; Type of Mission Gen. Purp. Bombing
3. WEATHER CONDITIONS AND VISIBILITY AT TIME OF CRASH OR WHEN LAST REPORTED: Undercast and Overcast 10/10 Clouds
4. GIVE: (a) Day 26 Month Jun Year 45; Time 1100 and Location 34 Deg 2'N of last known whereabouts of missing aircraft. 136 Deg 43'E
(b) Specify whether aircraft was last sighted ; Last contacted by radio (); Forced down (); Seen to Crash (); or Information not Available ().
5. AIRCRAFT WAS LOST, OR IS BELIEVED TO HAVE BEEN LOST, AS A RESULT OF: (Check only one) Enemy Aircraft (); Enemy Anti-Aircraft ; Other Circumstances as Follows: _____
6. AIRCRAFT: Type, Model and Series B-29-66-BW ; AAF Serial Number 44-69873
7. NICKNAME OF AIRCRAFT, If any None
8. ENGINES: Type, Model and Series R-3350-23A ; AAF Serial Number (a) W 462873 ; (b) " 462814 ; (c) 43-149461 ; (d) W 463506
9. INSTALLED WEAPONS (Furnished below Make, Type and Serial Number); Browning Mach-

重要

この報告書は航空乗務員の行方不明が公式に報告されてから 48 時間以内に、3 部作成されます。

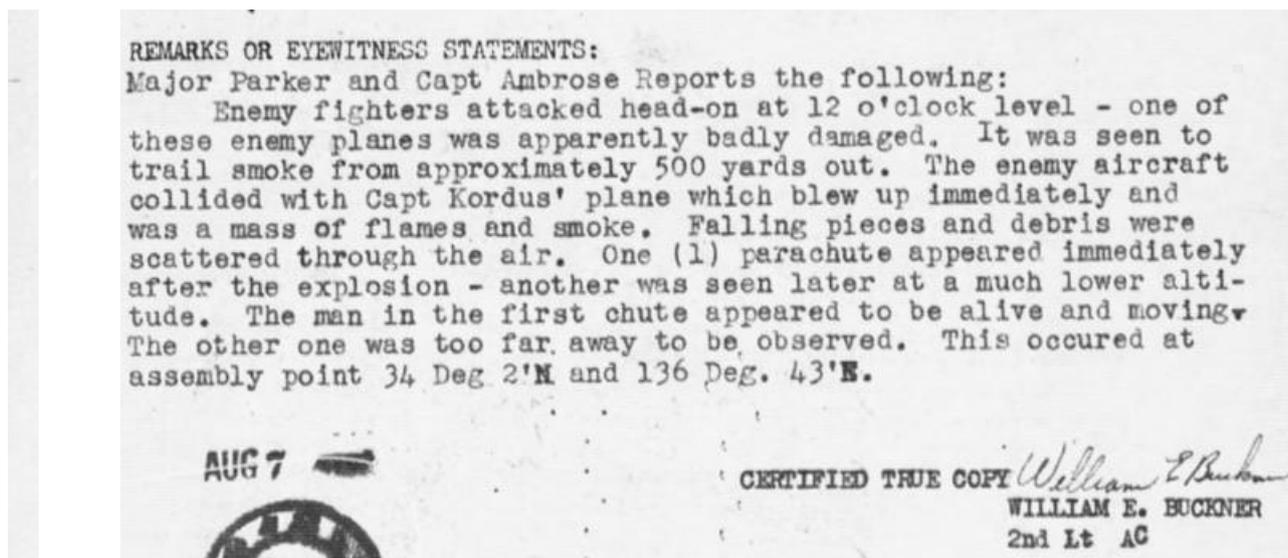
1. グアム島北飛行場 第 20 空軍、第 19 爆撃飛行連隊、第 28 爆撃飛行隊所属
2. グアム北飛行場出発 コース 295 各務ヶ原飛行場通常爆撃
4. 日時 1945年6月26日 10時 (日本時間)

場所北緯 34 度 2 分 東経 136 度 43 分

最後の目撃情報 敵の航空機によると記載

B29 爆撃機 シリアルナンバー 44-69873 搭乗員 11 名

機長 ベンジャミン. G. コルダス大尉 (ウィスコンシン州モジニー出身)



17, 発言又は目撃証言

パーカー少佐とアンブローズ大尉は次のように報告しています。

敵戦闘機は12時の高度から正面攻撃を仕掛け、この敵機は明らかに大きな損傷を受けていました。約450m先から煙の跡が見えました。敵機はコルダス大尉の飛行機と衝突し、飛行機は即座に爆発し、炎と煙の塊となりました。落下した破片や残骸が空中に散乱しました。爆発直後に1つのパラシュート現れ、その後、さらに低い高度でもう1つが見えました。最初のパラシュートの男性は生きていて動いているように見えました。もう1つは遠すぎて観察できませんでした。これは北緯34度2分、東経136度43分の集合地点で発生しました。(緯度経度は三重県尾鷲の南100km付近)

公認コピー

ウィリアム・E・バックナー少尉



この写真は硫黄島第7戦闘機集団の退役軍人のサイトにあるものです。

大型航空機がバラバラになって墜落して行く様子が写っています、バックの地状態から三重県津松坂港と考えられます。

また6月26日に熱田空襲の護衛任務に就いていたP51戦闘機のパイロットが戦闘報告書に、名古屋エリアで炎と煙に包まれて回転しながら墜落する

大型航空機を目撃したと書いています。行方不明搭乗員報告書にある墜落地点と目撃証言は大きく違いますので、別々の案件なのか、同一案件の墜落地点間違いか、さらに調査進めています。

各務原市空襲資料室調査員 福手一義、松尾朋和(郷土史家)

米軍は名古屋市内の爆撃、5月11日は1機、24日は5機、6月26日は3機のB29爆撃機を失っており、更に調査が必要です。調査の協力者を求めています。

写真で観る晴嵐 28号機修復の全貌 第23話

愛知航空機研究者・渡辺哲国

「操縦席」

操縦席の配置・レイアウトは

- ・座席の前に操縦桿・コントロールスティックと足踏棒・フットバー（計器板下部の奥）
- ・正面に計器板、その上部に射爆照準器
- ・左舷に発動機管制（絞弁・スロットルレバー、混合比・ミクスチャーレバー、点火時期・タイミング）、トリム調整ダイヤル
- ・右舷に燃料系操作パネル、電気系統スイッチ類等がある。

①計器板



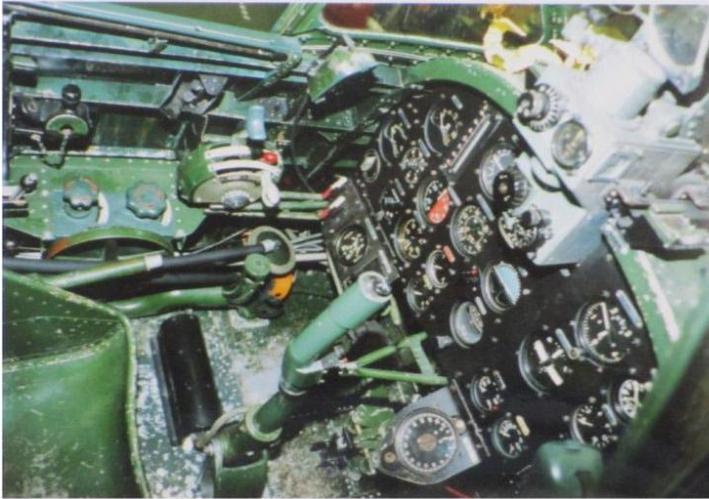
- ②操縦席正面上段に組付けられた3式一号射爆照準器一型。（日本光学製の第97号）
原型機の照準機は欠品していたため、PEGF所有品が使用された。



計器板配置

計器板はベニヤ板製、左右に計器照明用の紫外線灯を装備。計器配置は1段目左から、1)燃料計 2)前後傾斜計二型 3)昇降計一型 4)精密高度計二型 5)航空時計(複製品で代用) 2段目、6)排気温度計一型 7)燃料計転換器 8)吸入圧力計二型 9)速度計三型改二 10)水平儀二型 11)旋回計二型 12)真空計、 3段目、13)火災消火装置切替コック 14)電路接断器 15)回転速度計 16)燃圧計二型(上) 油圧計一型(下) 17)定針儀一型 18)水温計 19)油温計 20)荷重警報機 21)起動接断器 4段目、22)双針角度計一型(抵抗板、フラップ) 23)フラップ切断器 24)遠隔羅針儀 など
次号へつづく

③左舷に発動機管制（絞弁・スロットルレバー、混合比・ミクスチャーレバー、点火時期・タイミング）、トリム調整ダイヤル



④操縦桿周り



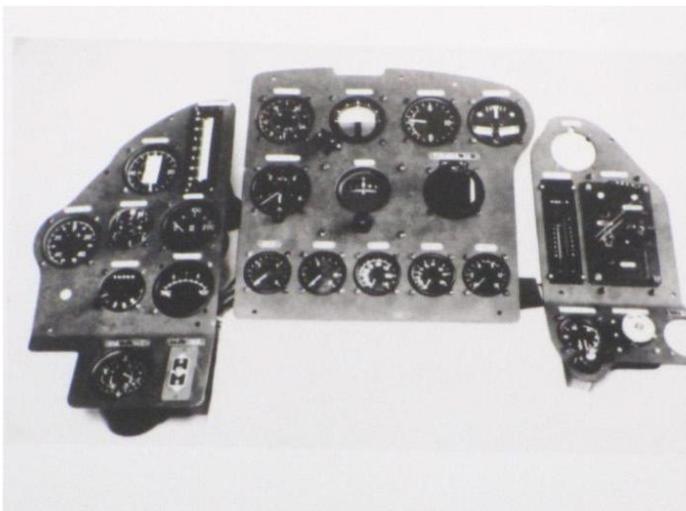
⑤右舷に燃料系操作パネル、電気系統スイッチ類等がある。



⑦昭和19年5月時点での計器

名	称	数	重量	記号
水平儀	一型	1	1.4	
空針儀		1	1.75	
旋回計	一型	1	0.65	
速度計	三型	2	0.4	
電熱ヒト管	二型	1	0.5	
精密高度計	一型	2	0.68	
昇降度計	一型	1	0.89	
零式航空羅針儀	二型改一	1		
燃圧計		1		
油圧計	一型	1	0.16	
油温計	一型	1	0.57	
水温計		1		
真空計		1		
前後傾斜計	一型	1	0.26	
電気式回線計				
給入圧力計	二型	1	0.43	
排気温度計	一型	1	7.4	
航空時計		1	0.34	
切時計		1	0.085	
荷重計	二型	1	0.16	

⑥取説写真の計器板



みなさまからのメッセージ とインフォメーション

ありがとうございました！

瀬戸市在住の檜山憲子さんからメールをいただきました

突然のお電話にもかかわらず、たくさんのご説明ありがとうございました。

歴史のある街 瀬戸市に転居して8年目になります。元々は千葉県で生まれ、結婚で愛知県にきました。愛知県は名古屋市というこれまた歴史のある街に住んでいて、戦時中の被害とかまるでわかりませんでした。

今回北海道出身のアップダウンという漫才コンビ(元吉本興行業 竹森巧・阿部浩貴)の2人に出会い、彼らの想いに共感して、応援したいと活動をはじめました。

4月5日(日)に瀬戸蔵で音楽劇を一部上映、一部舞台で芝居と音楽を行います。小学生・中学生は無料なので教育の現場の社会勉強として、親子三代で見てほしいと思い、活動しています。

今回のアドバイスとご協力に感謝しております。ありがとうございます。

私が代表の実行員会のホームページ URL を送ります。 <https://peacewalkaichi.jp/>

そして、アップダウンのメッセージをみんなに伝え、これからの日本の未来を子供たちにつないでいきたいと思っています。「あの頃、年端もいかない多くの特攻隊員が、国を守るために戦場に散りました。それは特殊な人間ではなく、ごく普通の少年や青年でした。家族がいて子供がいて恋人がいました。彼らが命を懸けて守りたかった日本を、未来に繋いでいくために、難しい本よりも、講義よりも、わかりやすく、面白く、時には涙を流す舞台をみんなに観てもらいたい。」と思っています。

戦争を語り継ぐ会

昨年までピースフェスティバル in せと「戦争体験を語り継ぐ会」は体験者が稀有になってしまい、新たに「戦争を語り継ぐ会」として再出発します。戦前にしないためにも過去の過ちをしっかりとらえることが大切だと思います。一人一人が当事者として参加されることを願っています。

- 4月18日 治安維持とスパイ法
- 5月23日 空襲死の記録
- 6月27日 花岡事件
- 7月18日 在日コリアン
- 8月22日 満州植民地化
- いずれも 13:30分～文化センターで

何かの冗談？



昨年10月、陸上競技場北の深さ3m以上ある陥没穴周辺に設置されていた看板(左)が老朽化したのか新しい看板(上)に代わっていました。付近は雑木林でじやりの地面ですが・・・

編集後記



日本の土台が大きく揺らいでいると感じる今日この頃です。私達も安穏とはしてられなくなったように思います。

戦後81年が、どこまでも戦後で続いているように、心新たに気を引き締めていきたいと思っています。

ただ、ここにきてうれしい出来事もありました。冬の時代に新しい芽吹きが、確実に花を咲かせるように頑張っていきたいと思っています。

2026年3月1日 (T)